

第 **57** 期 第2四半期 株主通信

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日

株式会社 アイネス

証券コード：9742

次の成長を見据えた基盤固めを
着実に仕上げていく。

代表取締役社長

森 悦郎



売上が順調に回復／
増収効果により損益面も大幅伸長

当上半期においては、多くの業種で企業のIT投資が引き続き拡大していることに加え、国内情報サービス産業界では、AI・IoT・RPA*などのITを活用した先端テクノロジー分野の市場が立ち上がってきています。

こうした中、当社グループでは、受注・売上拡大のための積極的な営業活動を推進し、株式会社アイネス総合研究所（以下、アイネス総研）を中心に、デジタルトランスフォーメーションに関連する分野の研究開発やお客様・外部機関との実証実験など、将来を見据えた取り組みを積極的に進め

てきました。

また、株式会社三菱総合研究所（以下、MRI社）と資本提携契約を、同社とその連結子会社である三菱総研DCS株式会社（以下、DCS社）と3社間で包括的な業務提携契約を締結しました。各社の事業部門を中心に協業検討や人材交流を開始し、テクノロジーの急激な変化にスピーディーかつ的確に対応しながら、受注機会の拡大を図る事業体制を整えています。

これらをはじめとする一連の取り組みが奏功し、公共・金融・産業のいずれの分野でも増収となり、連結売上高は前年同期比9.3%増の176億55百万円となりました。

損益面では、一部プロジェクトで原価の増嵩は

あったものの、増収効果等により営業利益は5億97百万円(前年同期比150.5%増)、経常利益は6億31百万円(同152.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億59百万円(同185.6%増)となり、各利益段階で大幅な増益を達成することができました。

※ RPA (Robotic Process Automation) : ロボットにより業務を自動化する取り組み

中長期視点では、研究開発の戦略的強化も重要になってきます。当社では成長戦略の柱の1つとして、自治体向けパッケージ「WebRings」の“次世代版”の開発投資を進めていくとともに、先にご説明したアライアンスやアイネス総研を活用しながら、AI・RPA・データサイエンスなどの最先端分野でお客様に積極的な提案を行っていく方針です。

最先端分野で お客様に積極的に提案

2019年3月期の通期業績見通しは、連結売上高375億円(前期比3.8%増)、営業利益21億円(同30.6%増)、経常利益21億円(同26.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益14億円(同32.4%増)を計画しています。

本格的な成長軌道への回復にはまだ道半ばですが、当社では当期は2020年3月期以降の成長に向けた基盤固めと位置付けており、下半期では、受注・売上の拡大はもとよりコストセービングにも努め、次の成長のための各種の施策を着実に仕上げていきたいと考えています。

また、MRI社のコンサルティング力とDCS社の高い技術力との連携を進めることで、アライアンスによるシナジー効果を創出していきます。

中間配当は 1株当たり10円に

当社では、経営上の課題の1つとなっている資本効率の向上と、株主さまへの還元を目的に、2018年8月より自己株式の取得を開始しました(詳細はP6「トピックス」をご参照)。また配当に関しては、中間配当で1株当たり10円とさせていただきます。期末配当も1株当たり10円とし、年間では1株当たり20円とさせていただきます予定です。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

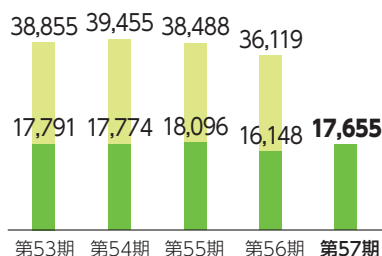
決算ハイライト

当第2四半期のポイント

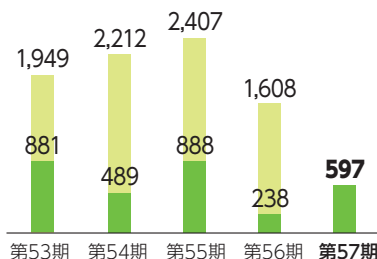
- 金融分野での前年同期比+12億円を中心に、全分野で増収を達成。
- 一部不調案件の発生による影響はありながらも、増収効果により営業利益は前年同期比+4億円の増益。
- 中間配当は1株当たり10円。期末配当も同10円を予定。

■ 第2四半期 ■ 通期

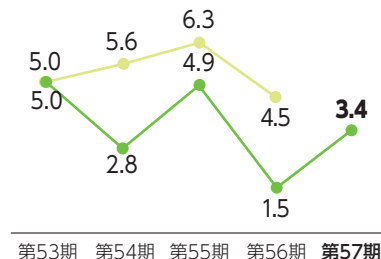
売上高 (百万円)



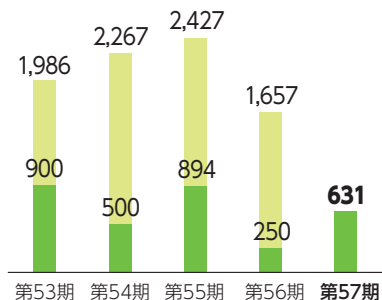
営業利益 (百万円)



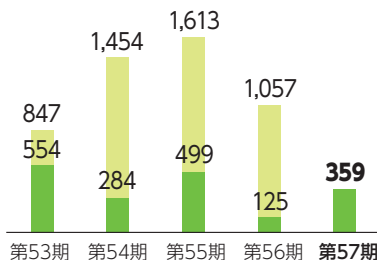
営業利益率 (%)



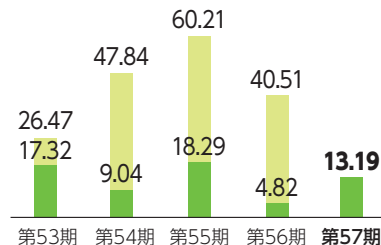
経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益 (円)





業種別事業概況



公共分野

- 売上高は、前年同期比0.7%増の66億95百万円となりました。



金融分野

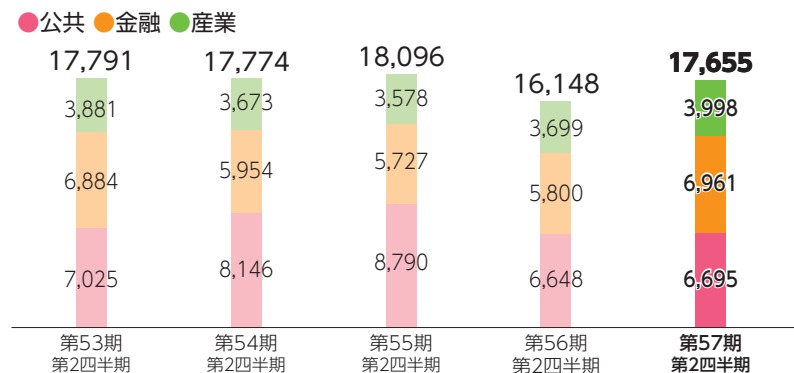
- 売上高は、前年同期比20.0%増の69億61百万円となりました。



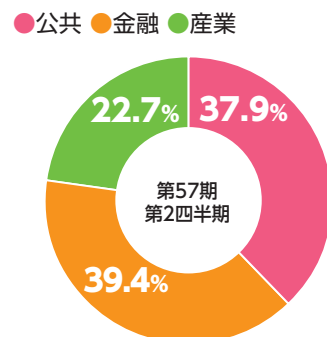
産業分野

- 売上高は、前年同期比8.1%増の39億98百万円となりました。

業種別売上高の推移 (百万円)



売上高構成比



三菱総研グループとの業務資本提携による成長戦略

当社では持続的な成長を目指して、2018年5月16日に株式会社三菱総合研究所（以下、MRI社）と資本提携契約を締結し、MRI社、三菱総研DCS株式会社、当社の3社間で包括的業務提携契約を締結しました。3社の協力体制によるコンサル＋ソリューション提供、包括的連携によるビジネスチャンスの拡大、人事交流、共同プロジェクトの推進など各社の長所を活かし、さらなるビジネスチャンスの拡大を果たしてまいります。

愛知県一宮市の市税業務におけるRPA実証実験への参加

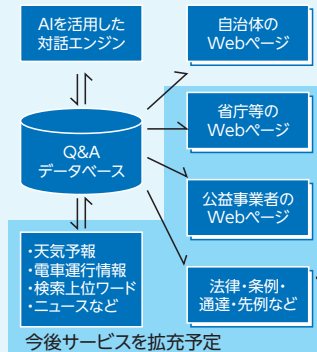
本実証実験において当社は、MRI社と共同で「事業所税の電子申告データ自動抽出・入力による作業軽減」の実験を行いました。これまで多くの地方自治体に総合行政情報システム「WebRings」を提供してきた実績や、地方自治体および民間企業に導入してきたRPAサービスのノウハウや技術を活かして、市職員の皆さまの作業の大幅軽減を実現できるよう実験と検証を行いました。



RPA実証実験に関する連携協定締結式
右：中野 正康 一宮市長
左：吉村 晃一（株）アイネス 取締役
公共ソリューション本部長

「AIスタッフ総合案内サービス」2018年10月から本格サービス提供開始

AIとの対話（チャット）により、住民の知りたい情報の提供とともに、職員の生産性向上に資する自治体向けサービスです。順次、外国語や音声認識にも対応しながら、ごみ・税・国民年金の詳細回答など、様々なシーンで住民の皆さまへのご案内が可能なサービスへ拡張していきます。サービス提供を三菱総研グループが、販売を当社が担います。



しつぎおとうふ君



- 詳細回答サービス
（ごみ・税・国民年金など）
- API連携による雑談機能のさらなる向上
- 外国語対応
（自動翻訳機能活用）
- 音声認識対応
（スマホ・外部音声認識サービス活用）

出所：三菱総合研究所および日本ビジネスシステムズ

資本効率向上のため 自己株式取得を開始

当社では2018年8月より自己株式の取得を開始しました。取得する株式の総数は上限400万株（発行済株式総数に占める比率：14.0%）、取得価額

の総額は上限40億円とし、取得した自己株式は全数消却することとしています（消却予定日：2019年3月28日）。今後とも、資本効率の向上と株主還元に積極的に取り組んでまいります。

各種イベントへ出展しお客様への PR活動を積極展開

2018年10月23・24日、東京ビッグサイトで開催された「地方自治情報化推進フェア2018」に出展しました。当社ブースでは、約180団体の自治体に採用されている総合行政情報システム「WebRings」の豊富なラインナップによる自治体向けソリューションをご紹介しました。このほか、「情報セキュリティEXPO 秋」、金融機関向けソリューションに特化した「FIT2018金融国際情報技術展」への出展など、お客様へのPR活動を積極的に推進しています。



地方自治情報化推進フェア当社出展ブース

新サービス＆ 新システムをリリース

2018年7月に新サービス「Peacock tail（ピーコックテイル）」を、8月に新システム「ALZETA（アルジータ）」をリリースしました。

「Peacock tail」

Webサイトの改ざんを瞬間検知・瞬間復旧するSaaS型サービスで、既存のセキュリティ製品が対応できないゼロデイ攻撃や内部犯行による改ざんにも対応可能な機能が特長です。

「ALZETA」

データ処理を部品化・可視化することで、従来時間のかかっていた大量データの処理時間を大幅に短縮することが可能な次世代型バッチ基盤システムです。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第57期 2018年9月30日現在	第56期 2018年3月31日現在
資産の部		
流動資産	23,823	22,984
固定資産	33,160	32,602
有形固定資産	22,031	22,260
無形固定資産	3,764	3,111
投資その他の資産	7,365	7,230
資産合計	56,983	55,587
負債の部		
流動負債	6,165	6,453
固定負債	10,643	10,558
負債合計	16,808	17,012
純資産の部		
株主資本	40,881	39,410
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	20,424	20,348
利益剰余金	7,036	6,937
自己株式	△ 1,578	△ 2,875
その他の包括利益累計額	△ 707	△ 835
純資産合計	40,174	38,574
負債純資産合計	56,983	55,587

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第57期 2018年4月 1日から 2018年9月30日まで	第56期 2017年4月 1日から 2017年9月30日まで
売上高	17,655	16,148
売上原価	14,283	13,052
売上総利益	3,372	3,095
販売費及び一般管理費	2,775	2,857
営業利益	597	238
営業外収益	72	44
営業外費用	38	32
経常利益	631	250
特別利益	—	49
特別損失	1	9
税金等調整前四半期純利益	630	291
法人税等	270	165
四半期純利益	359	125
親会社株主に帰属する四半期純利益	359	125

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第57期 2018年4月 1日から 2018年9月30日まで	第56期 2017年4月 1日から 2017年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,112	4,372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,712	△ 2,197
財務活動によるキャッシュ・フロー	679	△ 299
現金及び現金同等物の増減額	3,079	1,875
現金及び現金同等物の期首残高	10,026	9,726
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,106	11,602

会社概要

設立: 1964年7月

本社所在地: 東京都千代田区三番町26番地
(本店所在地: 横浜市都筑区牛久保三丁目9番2号)

上場取引所: 東証第一部 (証券コード9742)

資本金: 15,000百万円

従業員数: 1,696名 (連結)

事業の内容:

- 情報処理・通信サービス
- ソフトウェア開発
- システム提供サービス
- その他システム関連サービス

URL: <https://www.ines.co.jp/>

グループ会社一覧

株式会社アイネス総合研究所
— <https://iri.ines.co.jp/>

株式会社KDS
— <http://www.kds-net.co.jp/>

株式会社アイ・エス・エス
— <http://www.k-iss.co.jp/>

株式会社SKサポートサービス
— <http://skss.jp/>

愛寧寿情報系統(上海)有限公司

愛寧寿情報系統(香港)有限公司

役員 (2018年10月1日現在)

● 取締役および監査役

代表取締役		森	悦	郎
取締役		塚	原	進
取締役		大久保	道	久
取締役		吉	村	晃一
取締役	社外 独立	大	森	京太
取締役	社外 独立	福	原	紀彦
常勤監査役		當	山	稔
常勤監査役	社外 独立	打	込	愛一郎
監査役	社外 独立	吉	田	洋

社外 会社法に定める社外取締役・社外監査役

独立 東京証券取引所の有価証券上場規程に定める独立役員

● 執行役員

社長	森	悦	郎
常務執行役員	塚	原	進
常務執行役員	大久保	道	久
執行役員	吉	村	晃一
執行役員	萬	野	哲夫
執行役員	石	川	浩
執行役員	宮	原	洋司
執行役員	福	山	和宏
執行役員	磯	部	悦男

拠点一覧



株式の状況

発行可能株式総数 175,477,400株
 発行済株式総数 28,600,000株
 (うち 自己株式数 1,281,203株)
 株主数 5,797名

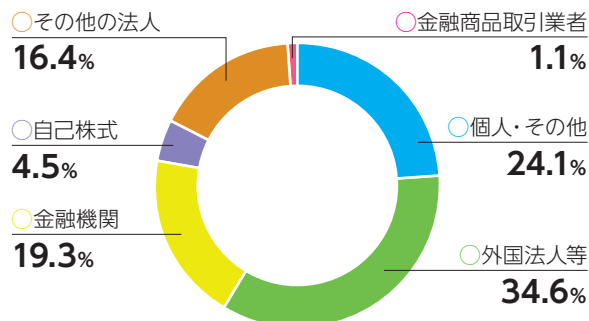
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社三菱総合研究所	2,490	8.71
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,616	5.65
株式会社日立ソリューションズ	1,562	5.46
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/JANUS HENDERSON HORIZON FUND	1,295	4.53
アイネスグループ社員持株会	1,218	4.26

※1 上記のほか、自己株式が1,281千株あります。

※2 持株比率は、発行済株式総数に対する比率です。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
 基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日
 (その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします)
 公告方法 電子公告
<http://koukoku.ines.co.jp>
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 郵送先 〒137-8081
 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 証券代行部

各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きや株主様の口座へのお振替手続きにつきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。配当金は、支払開始の日から満3年（除斥期間）を経過しますと、当社定款の規定によりお支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。



株式会社 アイネス

〒102-0075 東京都千代田区三番町26番地
TEL. 03-6261-3400

